

ビジュアル系  
子ども・家族の  
理解と支援

岡田隆介

五 超具体的な  
コミュニケーション支援  
(思春期編 その2)



今回で「超具体的シリーズ」はいったん閉じて、家族支援をエア絵本にしてみたいと思っと思っています。  
いずれ超具体的シリーズ「子どもの問いに大人がまじめに応える」に戻るつもりでいます。

マンガは団士郎氏の許諾をいただき、木陰の物語と家族の練習問題から転載しています。

ええで



## 社会の居場所につながる“青年期以降の課題”



## 1. 怒りのキャッチボール

なんやの、このテスト！この間と同じミスして。なんでこんな簡単なことがわからへんの。アホ！

しゃあないやろ、試合が重なって忙しかったんやし

あ～またそれや、テキトーな言い訳！

どこがテキトーや！ホンマに試合あったやろ！

サッカーかてテキトーな練習してるから、いまだにベンチスタートや

うっせえ、ババア

誰がババアや、言うてみ？

オマエの他にババアはおらんやろ！

オマエ？親に向かって！



怒りのパス交換してたら、言いたいことやうて、怒りしか伝わらんよ。息子の予測をはずして、怒りのないやりとりしたらええねん。たとえば、「ちょっと見せてみい。ん？なんやろ、この答案いつもとちゃうやん。この問題かて、いつもやったら手え着けへんやろ。答は違うてても、答案に迫力があるわ。試合のアリナミンが効いてる、ええ感じや」。どう？

“最悪”から  
“マシ”にせんと、なんも  
始まらん



なあ、どうしたらええ思う？  
毎回毎回、同じこと繰り返してんねんけど

「アドレナリンやろ」と突っ  
込ませたら、怒りも起き  
ひんわなあ。悪循環にな  
らんかったら、「ちゃんと直  
しとき」で素直にやるかも  
しれへん。なるほどなあ



## 2. 挫折と副業

つまずいた子どもが、「もうだめ、何から始めたらいいかさっぱりわからない」と言うんだ。挫折・失望・混乱に安易な励ましや慰めは逆効果だというし、どうしよう？



本業で動けない場合、競争も協調も強制されず、あいまいで優しい（易しい）“副業”、つまり趣味的な世界で充電するのが鉄則だよ



なに？この上から目線・・

### 3. 斜めの位置

なぜか親子とか教師・生徒って、“感情と理屈”、“立場とメンツ”みたいな意地の張り合いになりやすいのよね



一生懸命すぎて、熱意がジャマなんだと思う。思春期には、“そこそこの責任感”、“ほどほどの関心”くらいがちょうどいいのよ。たとえば、親戚のおじさん・下宿のおばさん・隣クラスの担任・保健室の先生・小さい頃から知っているご隠居とか。その距離感を意識するか、いっそ援助を求めてみたら？

毎朝、子どもが微熱を出して吐き  
気と頭痛、ときには腹痛も訴えるの。  
小児科医は大丈夫と言うけど、学  
校に行かせたらひどくなるし、どうした  
らいいのかわからなくて困ってるの

頭は「行かないといけない」、気持ち  
は「行きたくない」、それで混乱して  
身体が悲鳴を上げているんだと思う。  
頭と気持ちと身体、どれがいちばん  
正直かなあ？



そりゃあ身体でしょ。あればっかりは  
どうしようもないもの

じゃあ正直な身体の言い分に従  
おうよ。今の痛みを5として、学校  
のどの時間のどの場所で、痛みが  
何点になるかを調べるの。学習じ  
ゃなくデータ集めが目的だからね

## 5. 喜びと歓び

欲しがるものを与えて喜ぶ顔を見たい気持ちと、我慢させることも大事と思う気持ちが交錯して迷うんだ。キミはそんなこと考えたことはない？



確かに、待ちに待った願いが叶ったときのじわじわ系歓びと、欲しいときにすぐ手に入る興奮系喜びの二種類があるよね。どちらも必要だから値段で決める、なんてどう？

マジかぁ・・・

次々“問題”を起こすので、いつも叱ってばかり。たまにはフツーの対話がしてみたいわ



“問題”を通じて対話する、“問題”のおかげでかかわりが持てると考えれば最悪ではないよ。ただ、それは家の外では通用しない。フツーに菓子を食べ、トイレに行き、部屋ですれ違う、それがフツーのときだ。そのとき、対話しようとせずに一人でつぶやけばいい、そこから始まるのがフツーの対話だよ